統一戦線と反戦青年委員会

榎原　均

昨年の十二月初旬から、ちょうど十一・二四の前夜祭の時期から、三の日比谷集会の終結までの約一ヶ月の間は、この日本における学生運動の歴史の中で、社会党・総評・社会党の系列にあるいわゆる「革新」勢力が、一つの大きな力として、この運動の中に、大きな影響を与えた。そして、各種の反戦青年委員会が、社会党・総評の系列下に、組織されたことは、この運動の発展にとって、どのような意味をもつのであろうか。

この問題は、昨年の秋から、ちょうど、ベトナム問題が、国際的に、大きな問題となってきたころから、日本の学生運動の中で、問題にされてきたのであるが、日本の学生運動の、ここ数年の歩みを、ふりかえってみると、ベトナム問題が、国際的に、大きな問題となってきたのは、ちょうど、第一次羽田闘争の、前後であった。

日韓問題の、ちょうど、ピークであった、昭和40年の、秋から、冬にかけて、ベトナム問題は、日韓問題の、ちょうど、裏側に、ひっそりと、ひかえていた、問題であった。

日韓問題の、ピークは、ちょうど、日韓条約の、調印の、前後